東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリーテーマ
ロータリーに
輝きを

Vol.47　第2323回例会　2014.9.4

今年度会長テーマ　みんなで 熱く語ろう ロータリーを!!

■司会：石山会員

■点鐘：赤木会長

■国歌：「君が代」
■合唱：ロータリーソング
「奉仕の理想」

◆ソングリーダー：
荻野会員

■お客様紹介：
小町パスト会長

◆ゲスト：
元青少年交換留学生
南　芽衣さん

■会長報告　赤木会長

皆様改めましてこんにちは。ここに立つことが1ヶ月ぶりです。

元青少年交換留学生の南芽衣様、本日はようこそ東村山ロータリークラブにご来訪下さいまして、大変有難うございます。後程の卓話を大変楽しみにしております。どうぞ宜しくお願い致します。

先週の例会は、熊本で開催されました全国都市監査委員会総会・研修会に参加したため欠席致しました。野村パスト会長、そして皆様に大変ご迷惑おかけ致しました。

私は東村山市の監査委員を受けております。毎年8月の最終木・金曜日に全国から、本年度は490市、20の組合から監査委員、監査事務局の職員合わせて1426名が集まり、28日・29日の両日に渡り、本年度担当都市札幌市の研究発表・パネルディスカッション・講演・総務省からの報告等が行われました。

■幹事報告　田中幹事

■ガバナー事務所：
・2015年ロータリー国際大会の案内について

■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30
■例会場／八坂神社 社務所
〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／飯田　能士
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500　FAX 042-395-1166

大会日程　2015年6月6日(土)～9日(火)

・ポリオ募金活動について
11月22日、事務総長が自転車レースでポリオ募金活動。
応援(ポリオ寄付)のお願い。

・広島豪雨災害義援金のお願いについて
金額は任意
可能であれば一人1000円以上の支援を。
振り込み締切：9月24日(水)
第2710地区へ送金、地区内に設置された対策委員会にて使途を検討

■東京東大和ロータリークラブ：
第3回多摩分区連絡会の案内の受理
2014年10月7日(火)　16：00～
於　パレスホテル立川

■船橋西ロータリークラブ：
宅話依頼について
北久保隆一会員宛て
2014年9月26日(金)
於　フローラ西船

■ロータリーの友事務局：
「ロータリーの友」英語版について
2014～15年度版　11月中旬発行　年1回

■ロータリー米山記念奨学会：
第8回米山功労者　感謝状の受理
野崎一重 会員

■回覧：
・バギオだより
・福島にこらんしょプロジェクト

■出席報告　野村(裕)会員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
27	24	0	3	88.89

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：4名
■前々回出席率メークアップ修正後：84.00％
■前々会メークアップ者：
金子会員：理事会
中條会員：地区職業奉仕委員会

■ニコニコＢＯＸ　西河クラブ管理委員

■ご結婚祝月：野崎会員

■会員誕生日祝月：
小町会員・目時会員

■委任状：
米山功労者：野崎会員

◆赤木会長、田中幹事：
昨夜の理事会、お疲れ様でした。活発なご意見、大変盛り上げり、ありがとうございました。本日の卓話、南様お忙しいところ楽しみにお待ちしておりました。よろしくお願い致します。

◆野澤会員：南さん、本日はようこそ東村山へ。卓話楽しみにしています。元地区青少年交換委員長　野澤秀夫

◆野崎会員：ご多忙の処、33期青少年交換留学生、南芽衣さんに卓話をお願い致しました。本日はよろしくお願いします。

◆野村(高)会員：
南芽衣様、今日の卓話楽しみにしています。写真ありがとうございます。

◆北久保会員：
南芽衣さん、今日は卓話よろしくお願い致します。9月1日地区職業奉仕セミナーに参加させて頂き、大変勉強になりました。ご指名頂きありがとうございました。

◆隅屋会員：北久保さん、スカイツリーの写真ありがとうございます。

本日のニコニコ合計：　23,000円
累　　計　：　460,000円

■委員長報告

■会員研修委員：
野村(高)会員

◆ロータリーの友の紹介

■職業奉仕委員会：
北久保会員

◆地区職業セミナーの報告

■歩こう会：
野村(裕)会員

◆10月19日(日) 歩こう会の開催のお知らせ

■卓話

■卓話者紹介：
野崎パスト会長

■卓話者：
元青少年交換留学生
南　芽衣さん

交換留学の思い出と、今。時を越えて

第33期青少年交換留学生の南芽衣と申します。本日は、派遣生の時に大変お世話になりました野崎様よりお誘いいただき、東村山ロータリークラブの皆様の前でお話しさせていただくことになりました。このような貴重な機会をいただき、緊張しながらも楽しみに参りました。今日は留学中のエピソードと、その後、現在に至るまでを簡単にお話しさせていただければと思います。

現在、私はヨガのインストラクターとして日々活動をしています。この卓話の最後5分ほどは、この場でできる簡単なヨガを皆様に体験していただこうと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

私はロータリー青少年交換留学プログラムの派遣生として、オーストラリアのメルボルンで1年間過ごしました。当時は16歳で、親元を離れて長く生活することは初めての経験でした。最初の6ヶ月は思うように英語でコミュニケーションをとることが出来ず、ホームシックで夜に泣いたりしていたのを今も覚えています。そんな時に支えになったのが、ロータリー青少年交換留学委員会の皆様のサポート、そして世界中に散らばっていた同期の友人たちの存在でした。同期の友人達とは手紙でお互いの近況や悩みを打ち明け、励ましあっていました。この手紙は今も保険してありますが、内容もさることながら、メールではなく遠くから海を経て届く手紙はとても貴重で、その手紙とともに遠い異国にいる友人が感じているであろうその町の風や香りも一緒に届いたような気がして、勇気をもらう事が出来ました。

私は一年間で、現地のロータリアンさんの家庭、4家庭に3ヶ月ずつ滞在させていただきました。オールトラリアはマルチカルチャー、多国籍、多文化なことで有名です。それを表すかのように、私のホストファミリーは、オーストラリア人の単身女性のお家、イギリス系オーストラリア人のご夫婦のおうち、日系オーストラリア人の方のお家、イタリア系オーストラリア人のご家族のお家、と、バックグラウンドも、ついでに家族構成も異なる様々なご家庭にお世話になりました。私が現地で通った公立高校にも、30以上の異なる国籍を持った生徒が通っているということを聞き、とっても驚きました。ちなみに学校でできた親友は、ベトナム系オーストラリア人でした。

このように多様なバックグラウンドを持つオーストラリアの人々ですが、皆さんに共通して言えるのは、とてもおおらかで、気さくで、明るいということです。そんなオーストラリア人の気さくな人柄に助けられ、滞在半年を過ぎた頃にはいつも間にかホームシックも乗り越え、今度はこれでもかっ！というほどに留学生活を満喫し始め、帰国時には帰りたくない！と駄々をこねてしまう始末でした。

皆さん、オーストラリア英語は訛っていると聞いたことがあるかもしれません。が、私にとってはとても分かりやすく、そして愛着の湧く言語です。朝食のブレックファーストは、ブレッキー、ビスケットはビッキー、バーベキューはバービーと呼びます。最後の言葉をイーと伸ばして呼ぶことが多いです。なんだか可愛らしいと思いませんか？気軽な感じでサンキューと言いたい時は、ターといったりします。これもシンプルで好きでした。

そんな愛すべきオーストラリアの人々、オージーとの生活を、私は文字通り体当たりでエンジョイしてきたのです。次はそのエピソードをお話します。

オージーは、お祝いのときには家族や友達を呼んで盛大にパーティーを開きます。そしてお休みの日にはオージービーフでバーベキュー。お休みじゃなくても、晴れていたら裏庭でディナーにバーベキュー。そんな生活に溶け込みすぎていたその証拠?!として、帰国時はオーストラリアへ行く前プラス10kg!! 体重が増えていました。毎日を楽しみ過ぎていた私は、その事の重大性に全く気付かず、(いや、気付きたくなかっただけかもしれませんが)帰国し、日本の高校に戻った時、日本の女子高校生はみんなスリムだな～なんて呑気に思っていたりしたので、我ながらおめでたい話です。その後、毎日の食事が和食メインに戻っただけで、自然に体重が元通りになったので、よかったです。

帰国後、高校を卒業し、大学では異文化交流につい

て学びました。異文化交流を専攻したのは、オーストラリアでの留学経験が大いに関わっていたことは言うまでもありません。

異なる文化、言語、政治システムなどについて学ぶうち、大切なのは既成観念にとらわれず、関わる個人そのものと向き合い、対話をしていくことだと実感するようになりました。

そんな時、思い出したのが留学時代通っていた高校の友人とのやり取りです。その友人は、エジプト人で、日本のことはほとんど知らないということでした。「日本ってどんな国？」と聞かれて少し私が考えている間に、「君が住んでいる国ならいい国なんだろうね！」と言ってくれたのです。文化が違っても、母国語が違ったとしても、私たちは正直な気持ちを持って向き合っていけば違いを超えお互いを理解し、交流していくことが可能なのだと思います。それは異文化間だけではなく、常に個人と個人が向き合う場面においても同じことだと思います。

大学卒業後は美容系の総合商社で営業として4年間ほど勤務し、社会人としてのマナーや経験を積みました。その後、イギリスのロンドンに1年間滞在しました。この時は、交換留学の時のような強力なサポートはなく、初めて住む土地での仕事探し、家さがし、何から何まで自分で行っていきました。それには苦労もありましたが、大好きな音楽やアートに思う存分浸りながら、その時にしか出来なかったであろう経験をたくさんすることが出来ました。

イギリスから帰国後、ヨガインストラクターとしての道を歩み始めました。英語でもレッスンをしていろいろな国の方々と関わることが出来る、ヨガの学びはとても奥深く一生続けていく価値がある、そんな点に惹かれこの道を歩んでいくことを決めました。現在、インストラクターになって6年が経過します。幼児から80歳代までヨガスタジオから区民センター、公園、森の中、お寺などいろいろな方といろいろな場所でヨガを行ってきました。これからもずっと続けて行きたいです。

最後にオーストラリアの友人がくれたeverybody is beautifulと言う言葉で終わりにさせて頂きます。私たち一人一人は、そのままで素晴らしく美しい存在です。

東村山ロータリークラブの皆様有難うございました。

■閉会点鐘：赤木会長